

傘のお手入れ方法

★ご使用になりましたら、傘を広げた状態で十分に陰干ししてください。

日光に長時間当て続けると生地が日焼けしてしまいますので、陰干しがおすすめです。

★使用しているうちに生地が玉のように水を弾かなくなりましたら、生地の撥水がおちてきております。防水スプレーをおかけください。

★傘が基本的には洗うことができません。雨傘が汚れてしまいどうしても洗いたい場合には、ぬるま湯に中性洗剤を薄めてスポンジに染み込ませ、ポンポンと優しく撫でるだけに止めてください。その後は必ず陰干しで乾かし、風通しの良いところで防水スプレーをしてください。

傘の扱い方

★強風時に傘をご使用になると骨が折れるなど破損の原因になります。また、傘が煽られるような強風の際は怪我をする恐れもございますのでご使用を避けて下さい。

★傘を広げるときは、軽く左右に振って生地をよくほぐしてから開くと骨への負担が減り、傘が長持ちします。長傘を開くときは2～3回軽く振ってから開くようにしてください。折りたたみ傘は中棒を完全に引き出してから2～3回軽く振って開くようにして下さい。

★傘を地面にトントンと突いたり地面に引きずったりすると劣化をかなり早めます。最悪の場合、傘がたためなくなったり、生地が破れたり、上はじきがずれて傘が差せなくなったりします。また、石突きが割れると雨漏りするようになってしまいますので絶対にお止め下さい。

★折り畳み傘を広げた状態で肩にかけて、手元を持って傘を回しますと、遠心力で傘に非常に負荷がかかります。中棒が抜けやすくなる、傘のバランスがくずれ壊れやすくなるなど不具合の原因となりますので絶対にお止め下さい。中棒が抜けてしまった場合の修理は出来ませんのでご了承ください。

★水切りの際に傘を強く振ると傘に負担がかかり劣化をかなり早めます。優しく行って下さい。

★高温多湿になる場所へ保管していると傘の劣化をかなり早めますのでお止め下さい。

★お子様には保護者の方から必ずお伝えいただきますようお願い致します。

傘の部品名・箇所

